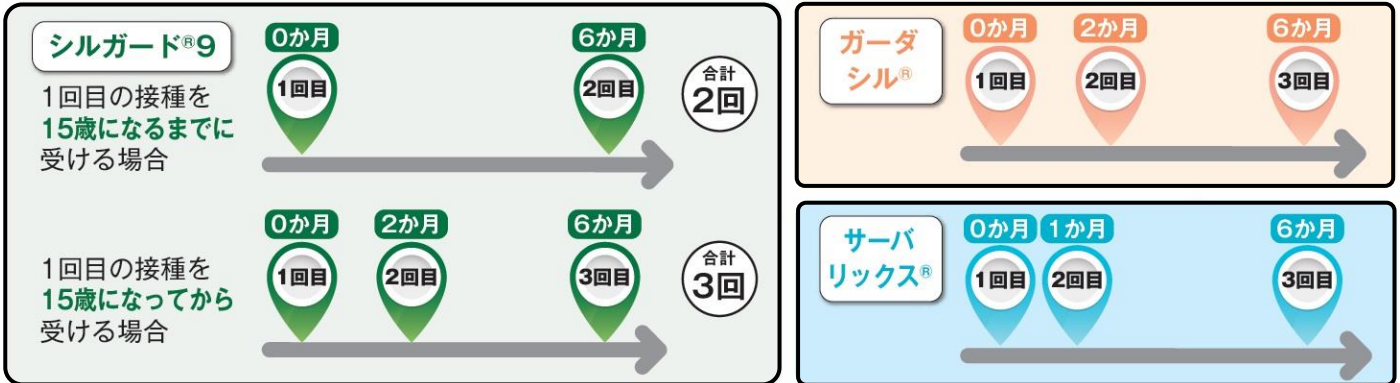


子宮頸がんワクチンの接種方法について

一般的な接種スケジュール

一定の間隔をあけて、同じワクチンを合計2回または3回接種します。接種するワクチンや年齢によって、接種のタイミングや回数が異なります。どのワクチンを接種するかは、接種する医療機関に相談してください。



交互相種について

以前に2価、4価を受けた方は9価ワクチンとの交互相種も可能です。

- 【実施できる例】
- | | 1回目 | 2回目 | 3回目 | |
|---|-----|------|------|----|
| ○ | 2価 | → 9価 | → 9価 | |
| ○ | 4価 | → 4価 | → 9価 | |
| ○ | 2価 | → 9価 | → 2価 | |
| ○ | 4価 | → 9価 | → 4価 | など |

- 【実施できない例】
- | | 1回目 | 2回目 | 3回目 | |
|---|-----|------|------|---------------------|
| × | 2価 | → 9価 | → 4価 | ・・・3回目は2価を接種してください。 |
| × | 4価 | → 9価 | → 2価 | ・・・3回目は4価を接種してください。 |

※あくまでも原則として、3回とも同じ種類のワクチンを接種することが推奨されております。

9価ワクチンの接種回数について

初回接種を15歳になるまでに9価ワクチンで受けた場合、少なくとも5か月以上あけて2回目を接種することで完了となります。(2回目は15歳過ぎていても差し支えありません。)

初回接種が15歳になってから9価ワクチンで受けた場合や、2回目を1回目から5か月以上あけずに受けた場合、初回接種が2価、4価の場合は3回接種となります